

コモンズ30ファンド コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式



渋澤と伊井の想い

岸田政権は、「貯蓄から投資」を掲げ、「資産所得倍増プラン」の税制を含めた具体策を今月確定します。多くの方は、資産倍増なんて・・・と他人事に思われているのではないのでしょうか。今回は、この政策の背景について説明したいと思います。

諸外国の事例を見ると、2000年からの20年間で家計の金融資産総額は米国で3.4倍に、英国で2.3倍になりましたが、日本は1.4倍に留まりました。資産所得倍増プランは、短期での倍増を狙うのではなく、米国・英国のように20年間程度での倍増を考えたもので、欧米の生活者の資産形成をお手本に日本でも欧米並みに資産形成が出来る制度や環境を整備していこうというものです。

欧米の生活者が購入できる金融商品と日本人が購入できる金融商品に差はありません。

どの国の株式でも債券でもREITなどの資産でも直接か投資信託を通じた間接的な投資が可能です。では、この20年くらいで見て、欧米の生活者と日本人の資産形成で何が違ったのでしょうか。家計の金融資産は、勤労所得と財産所得（資産運用）の合計で構成されますが、まず、日本の家計の金融資産約2,000兆円に占める上場株式・投資信託・債券を合計すると、その割合は12.3%です。これにDCとiDeCoの確定拠出年金を加えても12.8%。それに対し、同資産の割合が米国61.5%、英国23.1%です。

この有価証券の比率の違いが家計の金融資産の伸び率の差になっています。「私には、株式や投資信託の売買で儲けるなんて無理」、「元本割れのリスクは嫌だ」との声も聞こえてきそうですが、実は、米国や英国の生活者の方々もそんなに売買をしているわけでもなく、元本割れリスクも当然、気にされています。

では、何をしているのか？と言え、投資信託の積立てをコツコツと資産のベースを作られています。

例えば年金やNISAのような税制優遇されている資産割合が、日本は1.6%なのに対し米国21.8%、英国23.3%です。この非課税で運用されている部分の多くは投資信託の積立てです。

つまり岸田政権での資産所得倍増プランは、NISAやiDeCoの上限枠の拡大や年限の長期化・恒久化を進め、投資信託の積立てを長期で行うことで欧米なみの家計の金融資産の伸びを実現させようとする計画なのです。

この機会に、投資信託の積立ての重要性を我が事として、是非、お考え下さい。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

コモンズ30ファンド

モーニングスターFUND OF THE YEAR2021
(ファンドオブザイヤー2021)

国内株式型 部門 優秀ファンド賞受賞！



コモンズ30ファンド

格付投資情報センター「R&I ファンド大賞 2022」

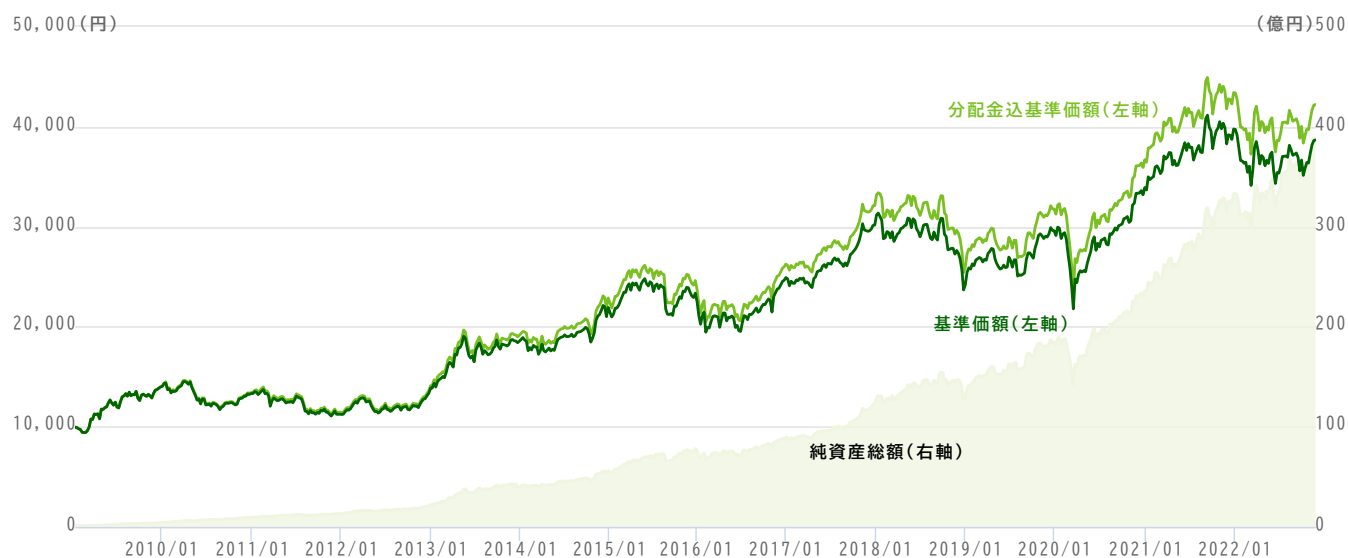
投資信託10年／国内株式コア カテゴリー 優秀ファンド賞受賞！





基準価額の推移

2009年1月19日 ～ 2022年11月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%（消費税込）です。



運用実績

2009年1月19日 ～ 2022年11月30日

基準価額

38,441 円

(前月末比)

+1,853 円 (5.06%)

純資産総額

386.1 億円

(前月末比)

+21.2億円 (5.83%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	5.06%
3ヵ月	2.02%
6ヵ月	3.78%
1年	1.22%
3年	34.85%
5年	33.65%
10年	224.72%
設定来	319.64%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2018年1月	250円
2019年1月	0円
2020年1月	250円
2021年1月	300円
2022年1月	0円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	93.7%
その他	6.3%

未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	14.0%
生活ソリューション	13.9%
ウェルネス	13.3%
資源・エネルギー	11.0%
新素材	10.8%
快適空間	9.2%
地球開発	6.1%
ライフサイクル	6.1%
未来移動体	6.0%
社会インフラ	3.3%
その他	6.3%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.4%
2 丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに	4.2%
3 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.2%
4 ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.7%
5 味の素	ウェルネス	「食・健康・いのち」の“UMAMI”で世界の食品トップ10を狙う	3.7%
6 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.7%
7 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.7%
8 カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.7%
9 セブン&アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	3.6%
10 リンナイ	快適空間	「熱」を通じて「快適な暮らし」を提供	3.5%

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

11月のファンドの月間リターンは+5.06%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

11月の内外株式市場は、先月に続いて世界的な上昇となりました。米国 CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことに加え、FOMC（連邦公開市場委員会）の議事要旨が米利上げペースの鈍化を示唆したことなどから米国株が上昇し、世界的な株高につながりました。また、中国でもゼロコロナ政策や不動産規制が緩和方向へ見直されそうな機運から大幅上昇となりました。国内株式市場も、世界的な株価上昇に連動して反発しました。

当ファンドは、月間で+5.06%の上昇、投資先30銘柄中23銘柄が値上がり、7銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+2.95%の上昇、日経平均株価も+1.38%の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、93.7%と前月比▲1.3%の低下となりました。当月、大きく上昇した場面での現金化で若干の組入比率の低下となっていますが、9月末からの下落局面での買い増し姿勢は継続しています。個別銘柄の月間騰落率では丸紅+18.80%、マキタ+15.07%、三菱商事+14.24%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。著名投資家ウォーレン・バフェット氏率いる投資会社バークシャー・ハザウェイの買い増しが伝わった商社株の上昇が顕著でした。下位3銘柄は、ベネッセHD▲9.25%、エムスリー▲5.42%、KADOKAWA▲4.83%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は味の素、ディスコ、丸紅の3銘柄（銘柄コード順）、年初来高値を更新した銘柄も6銘柄ありました。味の素は35年8ヵ月ぶりの上場来高値の更新となりました。

株式市場では、来年の相場展望に関心が移行しています。欧米でのリセッション（景気後退局面）入りの可能性の高まり、中国の低成長入りも想定しています。こうした中、欧米に比べ物価上昇の影響も軽微で、コロナ禍からの経済再開が始まっている日本株への注目は相対的に高まると考えています。ただ、全体が大きく上昇するというよりは、企業業績に基づいた個別の企業物色が中心になると考えています。当ファンドは、引き続き、守りの運用姿勢ではありますが、中長期的な押し目買いスタンスを継続しています。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2022年11月次運用報告動画もぜひご覧ください！

2022年11月次運用報告動画

<https://youtu.be/eXsPxQ8LRm0>



投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (2802) 味の素

味の素は、11月7日に2023年3月期第2四半期決算を発表しました。

第2四半期の実績は、主力の調味料・食品、冷凍食品事業は原材料、燃料費の上昇などコスト増を価格改定で打ち返しきれず減益となりましたが、重点成長領域である半導体材料などを含むヘルスケア等事業の成長が継続して全社の業績を牽引し前年同期比で増収増益となり売上高、事業利益は半期ベースで過去最高を更新しました。下期以降についてもインフレを背景としたコストアップの状況は続きますが、円安の追い風に加えて、製品単価の値上げやコスト削減を進めることなどで、**2023年3月期通期見通しを売上、利益ともに上方修正し、年間を通しての過去最高業績更新を計画**しています。

藤江社長からは新経営体制がうまく機能していることで、急速な円安やウクライナ侵攻など外部環境の変化にスピーディーに対応できているとの説明があったことや、社内では「バッドニュース・ファースト」を徹底しているとのことですので、**今後もスピード感のある経営**が期待できそうです。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (6367) ダイキン

ダイキンは、11月8日に2023年3月期第2四半期決算を発表しました。上期実績は上海ロックダウンの発生により、中国・日本を中心に生産面及びサプライチェーンの影響を受けましたが、**欧米諸国の需要を取り込んだことにより増収増益**となりました。

また、年間予想についても売上高3兆7,600億円、営業利益3,630億円とし、前回予想から上方修正いたしました。カーボンニュートラルの観点では、米州は省エネ性能の高い製品の開発・販売を推し進めるとともに、欧州は引き続きヒートポンプ式暖房機器の好調な需要を獲得するものと期待しております。また、マーケティングの観点では、顧客との新たなタッチポイントをより推進すべく、オンラインとオフラインを融合させたデータドリブンな経営にも期待しております。

今後、ダイキンの新たなステージとしては、**成長市場のアジア・アフリカ市場における事業の拡大**があります。既に、アジアの主要な地域におけるマーケットシェアやプレゼンスは高まりつつあるものの、まだ十分に浸透していないインバーター搭載エアコンの普及を進めると共に、アフリカ向けの主要輸出となるべく積極的な投資も行っており、経営計画FUSION25のめざす姿に向けて力強く邁進していくものと思われます。

アナリスト 古川 輝之

■ (9783) ベネッセHD

ベネッセHDの2023年3月期第2四半期決算は、第2四半期までの累計で、売上高は前年同期比7.1%減、営業利益は同18.1%減という厳しい結果でした。あわせて通期の営業利益予想を従来の250億円から215億円へと下方修正しました。

国内では新型コロナウイルス感染拡大に起因する介護施設の入居率低迷、光熱費の上昇などが、海外では中国におけるロックダウンによる営業停止・配送遅延などが要因として挙げられます。しかし、構造的な要因として最も重要なのは、**コア事業である国内教育事業の環境変化である**と考えます。

コロナ禍における子どもの学習意欲の低下やGIGAスクールの進展、さらには大学受験における年内入試の拡大、と同社を取り巻く事業環境は大きく変化しているものの、現状ではそれらの変化にしっかり対応できているとは言い難く、結果的に売上高が思うように伸長していません。**来年5月には国内教育事業の変革事業計画を発表する**とのことで、その内容には要注目です。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介



コモンズ30塾統合レポートワークショップ 「味の素」をお招きして

ASVレポートを読み解く

11月29日（金）、投資先企業味の素をお招きし、統合レポートワークショップを開催しました。

味の素株式会社は、今年4月に藤江太郎氏が新社長として就任されました。

西井前社長が取り組まれたASV (Ajinomoto Group Shared Value) 経営と、「アミノ酸のたはらきで食と健康の課題解決」という「志」を引き継ぎ、味の素グループの企業価値を飛躍的に向上させることが使命であると明言しています。

今年からこれまでの「統合報告書」をASV経営の考え方やそれに基づく活動を伝えるための報告書と位置づけ「ASVレポート」へと改称しました。

当日は、IRグループ長の梶さまとレポーティンググループ長の伊沢さまより同社の概況や創業来の取り組みについてお話をいただきました。同社は、100年以上前に「うまみ」を発見し、その一つであるアミノ酸のはたらきを活用し、食と健康の課題を解決し、一人一人のウェルネスに貢献することを目指しています。

私たちにとっては、冷凍食品などでおなじみですが、食品事業は売り上げの7割で、3割はアミノ酸など食品原料を販売する事業などとなっています。また、食品事業における海外売上比率は7割に上り、なんと、冷凍餃子の売り上げは、海外での売り上げが日本を上回るまでになっているそうです。



また、我々が目に触れる機会は少ないのですが、医薬品の製造受託事業なども行っています。また、アミノ酸を作る過程でできた副産物から生まれた半導体材料は今や、事業利益率約50%を誇る高収益事業に育っています。

今回のASVレポートでは、まず、新社長に就任された藤江社長のメッセージをしっかりと出されたとのこと。また、非財務の強みや資産が会社全体の強みにつながっているのかをストーリーとして伝える、ということに注力され、特に人的資産への取り組みについてはより重点的にページを割かれたそうです。



トークセッションでは、経営や会社の変化や、人的資産への取り組みを中心に話が進みました。

西井前社長時代からの改革が、藤江社長に引き継がれ、例えば意思決定のスピードが増していること、また議論がよりフラットになってきており、組織横断的な取り組みがどんどん生まれているそうです。アナリストの末山からは、同社のESGへの取り組みは日本企業の中でも特にトップグループであると評価しているが、特に「S」については従業員エンゲージメントをKPIとして持っている点は他社にも例が少なく、また高い目標に対してどう取り組んでいるのかという質問をさせていただきました。従業員エンゲージメントの測り方自体を少しずつ進化させていることや、会社の取り組みへの共感や働き甲斐を高める工夫を行っているとのことでした。

その後、会場では実際の統合レポートを手に取りながら、社員の方にも議論にはいっていただきワークショップを行いました。

「伺った話だと若手の活躍が目覚ましいと感じたが、ASVレポートの中では若手があまり登場していない」「無形資産（人的資産等）への取り組みが、ROIC（投下資本利益率のことで、企業が事業活動のために投じた資金を使って、どれだけ利益を生み出したかを示す指標）にどうつながっているのか、工夫は見られるが、やはり読み解くのは難しいと感じた」といった声が出ていた一方、

「（今日対話をさせてもらっている）社員さんの熱意がすごい」といった対面だからこそそのライブ感のある対話となりました。

セミナー後に寄せられた声としては

「自分にあった固定観念が取り払われた感覚です。超大手企業にこれほどの成長性がありこれほどのチャレンジ精神があることを初めて知りました。」

「パーパスの浸透の努力、特に「講話」から「対話」への変化が印象に残りました。」など同社の変化を感じる対話の場となりました。

ぜひ、アーカイブ動画もご覧ください。

https://youtu.be/9CBl_tplpmM

取締役マーケティング部長 福本 美帆



コモンズSEEDCapからのお知らせ

【12月は寄付月間！】

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら

→ <http://www.common30.jp/fund30/seed>

いよいよ8年目となる寄付月間がスタートします。

→ <https://giving12.jp/>

欲しい未来へ、
寄付を贈ろう。 **Giving December**
寄付月間

「寄付月間（Giving December）」は、NPO、大学、企業、行政など寄付に関わる関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために協働で行う、12月1日から12月31日までの全国的なキャンペーンです。

ぜひより多くのコモンズのお仲間にもこのキャンペーンにご参加いただきたく、以下寄付月間2022賛同企画をご紹介します。

■トークショーわたしたちが寄付アクションを起こすその理由

～企業の見えない価値、寄付編～

日時：2022年12月14日（水）19:30～21:00

形式：会場＆オンライン（YouTube）

会場：資生堂本社 汐留オフィス

定員：会場は30名、オンラインは定員なし

参加費：無料

主催：コモンズ投信株式会社

共催：公益財団法人資生堂子ども財団、公益財団法人ベネッセこども基金

申込： <https://mf.common30.jp/contents.php?c=info&id=ih8d7dms5uf6&item>

Giving December 2022

わたしたちが寄付アクションを起こす理由
～企業の見えない価値、寄付編～

2022年12月14日（水）
19:30～21:00
※現地では19:00～19:30まで名刺交換タイムを行います。

@資生堂汐留オフィス
4階405会議室
※YouTubeでも視聴いただけます

青木智宏
ベネッセこども基金
専務役員

中嶋弓子
フィナンソロビープロデューサー

馬越裕子
コモンズ投信
ソーシャルエンゲージメントリーダー

白岩哲明
資生堂子ども財団
常務理事兼事務局長

HELLO! "ヘンテコ" タウン2022

ここのクリスマスは
サンタになろう！

限定300名ご招待！
@浜松町

クリスマスフェス

CHRISTMAS DAY!
12.25 SUN
10:00-15:00

笑顔の"じゃんかん"で、
心あたまるクリスマスを
こどもたちと。

■HELLO!ヘンテコタウン2022クリスマスフェス ～寄付の文化をこどもたちへ～

日時：2022年12月25日（日）10:00～15:00

対象：お子様向け

会場：シミックホールディングス株式会社

東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング22階

参加費：500円

主催：株式会社CHEERS

コモンズのファンด์をお持ちの方に限り、先着30名様を無料ご招待！

申込： <https://mf.common30.jp/contents.php?c=info&id=ih8kntllgzly&item>

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

教育資金作りとこどもトラスト

子どものお金の運用をしたいので、子どもトラストのことが聞けました。
短い時間ですが分かりやすかったです。（40代・女性）

コモンズ投信運用報告会～2022年7～9月期～

【福岡開催】：久々の開催で、対面での説明を聞くことができ、双方向に状況を確認できた点が良かったです。投資先の現在の状況を、5つの軸で説明してもらえた点も、理解が深まり、視野を広げるきっかけを頂けたと思います。（50代・女性）

【名古屋開催】：原嶋さんの調査会社に対する熱い思いが伝わり心動かされました。また、同じ運用方針に基づき運用されていることが確認できました。（60代・男性）

【大阪開催】：投資先会社への対応を具体的に知ることができたことが良かったです。また、組入銘柄の説明をもっと聞きたいと思いました。落ち着いた話し方で聞きやすかったです。（50代・女性）

【札幌開催】：演者がとても近く、程よい緊張感が保たれていました。何度も聞いている文言なのに、いまさらのように理解を深めることができました。自己流に解釈していた部分に気付きました。また、北海道銀行の会議室でしたが、長時間座っても腰が痛くならない立派な椅子で、机も堅牢な作りで驚きました。（60代・女性）

コモンズ30塾統合レポートワークショップ 投資先企業「味の素」をお迎えして ASVレポートを読み解く

・自分にあった固定観念が取り払われた感覚です。超大手企業にこれほどの成長性がありこれほどのチャレンジ精神があることを初めて知りました。味の素がとても熱い気持ちで取り組んでいることが伝わりました。また、熱意が溢れすぎて言葉が多くなってしまい学生の集中力では追い切れない部分を多少感じました。印象の残るセンテンスやワードはとても心に残りました。（20代・男性）

・私の味の素様のイメージは、若い時の食品添加物のイメージの悪さがあり、あまり良くありませんでした。ですが、うま味の説明を伺い、味の素様のイメージが良くなりました。食品と食品以外の売上金額比率を1対1にするという目標がすごいと思いました。また、ROIC（投下資本利益率）という単語に着目すると統合報告書が読みやすくなりました。（40代・男性）

・味の素の梶様が中途入社ながらも会社愛にあふれていて、企業価値創造のプロセスを定量・定性の両面からアプローチしており、まさにASVだと感じました。パーパスの浸透の努力、特に「講話」から「対話」への変化が印象に残りました。データブックも含めてよく拝見します。素晴らしいIRチームですね。（50代・女性）

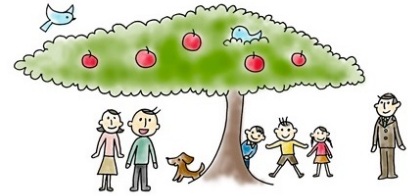


お知らせ

Pick Up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>



◆2022年11月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/eXsPxQ8LRm0>

□2022年末企画

「伊井さん、何でも聞いていいですか？」

12月29日（木）13:00～14:00



□わたしたちが寄付アクションを起こすその理由
～企業の見えない価値、寄付編～
寄付月間2022賛同企画

12月14日（火）19:30～21:00

□コモンズのファンドの特徴は？

12月15日（木）20:00～20:30

□コモンズPOINT企画 パラスポーツと共に未来を拓く
～第9期応援報告とこれから～

12月20日（火）19:30～21:00

□資産づくり質問会

12月21日（水）20:00～21:00

□CHEERS主催 HELLO!ヘンテコタウン2022クリスマスフェス
～寄付の文化をこどもたちへ～

12月25日（日）10:00～15:00

□コモンズの視点 ～企業のみカタ～
クボタのご紹介

12月26日（金）20:00～20:30

□こどもトラストセミナー おかねの教室（小学生対象）
「おかねの4つの使い方～お年玉をどう使おう？～」

1月9日（月・祝）10:00～10:45

□【会場&オンライン | なでしこPJ共催企画】
ダイバーシティ推進はどのように企業価値につながるの？

2023年1月13日（金）18:30～20:30

☆アーカイブ動画を[YouTube「COMMONSTV」](#)にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆

※Morningstar Award“Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型 部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド897本の中から選考されました。

※「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関 北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
静銀ティーム証券株式会社※2	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関 九州財務支局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十八親和銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務支局長 (登金) 第10号	○	○		
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
野村證券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○	○

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者 福岡財務支局長 (金商) 第5号	○			○
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長 (登金) 第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	
PayPay銀行株式会社※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関 四国財務局長 (登金) 第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者 四国財務局長 (金商) 第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関 近畿財務支局長 (登金) 第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第1号	○	○		
LINE証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第41号	○			
SMB C日興証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※2	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第3号	○	○		
OKB証券株式会社※1	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第191号	○			
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第10号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3283号	○		○	
東海東京証券株式会社 ※1	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○
スルガ銀行株式会社 ※1	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第8号	○			

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98%) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>